

桐生市とみどり市の連携事業の取り扱いについて

桐生市がみどり市に申し入れていた両市の合併に向けた任意合併協議会の設置について、みどり市から「合併については時期尚早」との回答を平成28年5月に受けました。この回答を重く受けとめ、両市の一体感醸成などを目的に実施してきた「桐生・みどり市連携交流事業」などの今後の方向性を協議するため、平成28年12月12日(月)に「第7回桐生・みどり連携推進市長会議」を開催しました。

協議の結果、「桐生・みどり市連携交流事業」については、一区切りをつけ、平成28年度末をもって終了

することが確認されました。

しかし、平成29年度以降も両市が連携して事業を実施することにより、市民サービスの向上や効率的な行政運営に効果があると考えられる事業については、新たな地域間連携事業の一つという位置付けで、事業を継続していくことになりました。

今後もみどり市と連携して実施する主な事業については、下表のとおりです。

問い合わせは、広域調整室広域調整係（☎内線386）へ。

新たな地域間連携事業としてみどり市との連携を継続する主な事業

両市の連携を更に強化していく事業	
バス交通対策事業	バスの相互乗り入れ拡充など、より利便性の高い公共交通網を構築していくため、両市の連携強化を図る。
カッコソウ保全事業	世界唯一のカッコソウ自生地を抱える両市が、連携して保全を目的とした啓発活動や調査などに取り組むことにより、相乗効果が期待できるため。
現状のまま両市の連携を継続する事業	
「桐生ファミリー・サポート・センター事業」運営の広域化	育児及び介護サービスの相互援助活動を目的とした事業であり、両市が連携することにより、効率的な事業運営が期待できるため。
「赤ちゃんの駅」設置事業	おむつ交換や授乳ができる場所を「赤ちゃんの駅」として公共施設などに設置している事業であり、設置場所の相互周知などで連携を図ることにより、利用促進が期待できるため。
移住・定住促進事業	ホームページ上で相互にリンクを掲載するなど、両市が連携して移住・定住の促進に取り組むことで、より多くの成果が期待できるため。
両市公共交通空白地有償運送	黒保根・東地域における高齢者や障害者などの重要な交通手段であり、両市が連携して取り組むことで、効率的な事業運営が期待できるため。
内容を見直しながら両市の連携を継続する事業	
航空写真作成委託事業の共同化	航空写真を合同で撮影することにより、効率的な事業運営が期待できることから、事務的な労務負担を見直しながら、両市の連携を継続する。
広域観光連携	広域物産まつりなどの各種イベントを効果的かつ効率的に実施するため、事務的な労務負担を見直しながら、両市の連携を継続する。
救急医療対策事業	桐生・みどり地域は、医療圏、医師会などが同一であり、両市が連携して救急医療体制の整備に取り組むことで、効果的な事業運営が期待できることから、事務的な労務負担を見直しながら、両市の連携を継続する。

**「高齢者保健
福祉計画策定
に関する調査
に御協力くだ
さい**

第7期桐生市高齢者保健福祉計画を策定するにあたり、65歳以上の市民から無作為に選んだ1800人を対象にアンケート調査を行います。調査項目は、「介護、介護予防について」「生活について」などです。対象者には、1月中旬に調査票を送付しますので、届いた人は回答を記入の上、同封されている返信用封筒にて、1月27日(金)までに投函してください。

問い合わせは、長寿支援課長寿支援係（☎内線556）へ。

